



ありがとう 六年生！ 感動の六送会

2月26日（木）六送会を行いました。神楽の引継ぎや全校での交流を行いました。この会は、新執行部と5年生が中心となって企画、運営を行いました。当日まで各学年では、臨時代表委員会で決まったことをもとに準備をしてきました。1年生はメダルづくり。2年生は神楽の引継ぎ。3年生は感謝のお手紙。4年生は似顔絵。5年生は運営に向けての具体化と飾り付けなどの準備。在校生が一丸となって平館小学校にいてよかったと6年生に思ってもらうために準備を進めました。やらなければならないことに本気で取り組むこと、誰かのために手を使うこと、よりよいものにするために工夫すること、この3つの力をつけてきたことが凝縮された時間となりました。この1年の子ども達の成長に思わず目頭が熱くなりました。このようにみんなの気持ちを一つにできたのは、6年生が様々な場面で先頭に立って活動してきたからです。そんな6年生への感謝を込めた心に残る時間となりました。4月から新しい生活が始まる6年生ですが、きっと自分らしく活躍してくれることと信じています。



【6年生と1年生が手をつないで入場】



【神楽の引継ぎ】



【6年生との交流の一コマ】

六年生へのお礼より
この六年間、いろいろな行事や日常生活でも支えてくださってありがとうございます。私たちは、六年生との思い出がたくさん出来ました。例えば、運動会では思いがこもった応援ができました。六年生は、自分たちで応援を考えて、自分たちで練習を進めていました。来年は、自分たちもこんな応援がしたいなと思いました。：
委員会活動では、学校が少しでもよくなるように自分たちで考えてやっていました。：
これらの思い出は六年生がいたから、さらに素晴らしいものになりました。
中学校に行ったら、勉強や部活など初めてのことがいっぱいあると思うけど頑張ってください。あきらめずに全力で取り組んでのりこえられると思います。だって、小学校で難しいことがあっても乗り越えていたので、できると信じています。わたしたち全員が応援しています。
わたしたちも今の六年生を追い越せるようにがんばります。六年生もがんばってください。

第3回学校運営協議会より

2月17日(月)、今年度3回目の学校運営協議会を開催しました。お忙しいところ委員の皆様には、ご出席いただきありがとうございました。

今回は、この1年を振り返り今年度の教育活動の成果や課題、来年度の教育活動に向けてたくさんのご意見を頂戴いたしました。また、給食の試食もしていただくことで子ども達の環境をご理解いただく機会ともしました。

今年度の様子から

- ✓ 学習成果発表会は、これまでの学習発表会とは違い子供中心の活動になってきたと感じた
- ✓ 地域から学ぶ機会をさらに地域行事への参加など地域の中の活動にも広げていけるとよいのではないかと
- ✓ 地域の人々が学校の中に入ったり、活動に関わったりすることで子ども達が見守られているという思いにつながっていると感じる

来年度に向けて

- ✓ 目標をもってやっていることは大切だと思う。目標の意義について常に意識した教育活動を仕組んでほしい
- ✓ 現在取り組んでいることを次の学年につなげていく(後輩につなぐ)ことも意義があるのではないかと

その他として(地区懇談会の開催について)

- ✓ 地区懇談会の在り方や、その目的について改めて検討しながら充実したものにしていければよいのではないかと



上記に簡単に記しましたが、本当にたくさんのご意見をいただきました。来年度に向けて貴重なご示唆をいただきました。今後も保護者、運営協議会、地域の皆様と共に子ども達のために何ができるのか、考えていきたいと思っております。大変ありがとうございました。

ある日の出来事から

- ◇ お昼休みが終わったときのことで。低学年の下駄箱のところに、靴から落ちたと思われる雪が落ちていました。私が「あれっ、雪だ。」というと、低学年の男の子がしゃがみ込みました。すると、床に落ちている雪を手で拾い、たたきの部分に捨ててくれました。みんなのために気が付いたことを進んですることができる、感心しました。心が育っていると感じる瞬間でした。

- ◇ 六送会の一コマです。5年生と6年生の応援対決がありました。6年生の応援と言えば、運動会の迫力ある応援が思い出されます。それに対抗した5年生は、リズムに乗って振りをつけて30秒間、以下の言葉で応援を披露しました。

ファイト ファイト ファイト 6年!

ファイト ファイト ファイト 6年!

フレー フレー 6年生!

フレッ フレッ 6年生 フレッ フレッ 6年生

今までありがとう 6年生!

たまには 力を抜いて

笑顔で楽しめ 中学校!

ファイト ファイト ファイト

レッツゴー

歌のようなリズムもさることながら、6年生を思う優しさ溢れる言葉を考えたこと、感動しました。